

クリエイトひがしね ニュース

発行 NPO法人クリエイトひがしね 999-3796 山形県東根市中央1-5-1 タントクルセンター内
TEL 0237-43-1155 www.higashine.org 発行責任者 菊地和博



けやきジュニア合唱団 クリスマスミニコンサート

本文4頁をご覧ください

ある日の総合受付

施設コーディネーター室長
奥山節子

明けましておめでとうございます。2019年、『平成』最後の年がスタートしました。昨年は30万人を超える方々より、さくらんぼタントクルセンターをご利用いただきました。私達、施設コーディネーターは総合受付で多くのお客様をお迎えしています。けやきホールへ遊びに来た親子、子育て健康課にいらした方、コンサートや講演会、会議、サークル活動で来られた方、赤ちゃんからご高齢の方まで来館の目的は様々です。

昨年のある日、一人の女性が「〇〇に電話をしてほしい」と困った様子で総合受付にいらっしゃいました。詳しくお話を伺うと、「主人の用事が終わるまでまなびあテラスで待っているつもりだったが、まなびあテラスが休館日で中に入れないので、待ち合わせ場所をタントクルセンターに変更したい。でも電話番号が分からないので電話をかけてほしい」というご相談でした。たいへんお困りのようでしたので、電話番号を調べ、奥様がタントクルセンターで待っていることをご主人に伝え、中で

お待ちいただくようお願いしました。しばらくして、用事を終えられたご主人がお迎えに来られ、お二人で「ありがとうございました。」と深々と頭を下げ、お帰りになりました。

後日、再度、お手紙を持ってご夫婦で総合受付にいらしてくださいました。お手紙には「受付係様 困っていた私をお助け下さってありがとうございます。〇〇へ連絡（夫のいる場所）していただき、路頭に迷わずことの難を救っていただきました。村山市90才」と書いてありました。私たち施設コーディネーターが常日頃行っているあたりまえの仕事に、感謝していただいたこと、そしてそれがタントクルセンターの親しみやすさ、利用しやすさにつながっていることを思い、とても嬉しく感じた出来事でした。

2019年も「お客様に寄り添った受付」を目標に、タントクルセンターは素敵な所！と思っただけのよう猪突猛進、頑張ります！

生涯学習フェスティバル（11月11日） 大盛況！キッズフリーマ

いろいろな
やいませ



子どもたちが「物を大切にすること、使わなくなった物をリユースすること」を目的に、キッズフリーマーケットを開催しました。

当日は25店が出店、ヘアゴムや巾着などアイデアが盛り込まれた商品がたくさん集まりました。子どもたちみずから店長として店頭立ち、「いらっしやいませ〜！」と元気な声が終始飛び交っていました。そんな声に導かれ、お客さんは目を輝かせながら買い物を楽しんでおり、客足が途切れることがありませんでした。

いらなくなった物でも作った人、使っていた人の想いが込められています。自分が使わなくなった物を次に使ってくれる人へ引き継ぐことで物を大切にする気持ちが芽生えたのではないのでしょうか。



けやきホール大運動会

けやきホールに来てくれた方がどなたでも参加できる大運動会を開催しました。赤ちゃんから小学生まで参加してくれた「ハイハイレース」。赤ちゃんはあたたかい声援のなかお父さんやお母さんと一緒にハイハイ。幼児や小学生は赤ちゃんの目線になってハイハイで競争。ドイツでは子どもたちに親しまれているスプーンレースに



も挑戦しました。その他にも大玉転がしや小学生を対象にした縄跳び競技「ループdeループ」も行いました。競技に挑戦してくれた子どもたちには、けやきホールで来館者と一緒に手作りしたメダルをプレゼントしました。外は肌寒い1日でしたが、けやきホールでは光る汗とみんなの笑顔が輝いた1日でした。

生涯学習フェスティバルに出場して

楽楽クラブ 武田敏子

生涯学習フェスティバルが終わるともう来年に向けて「何する？」と相談が始まります。曲を決めるのにも「これいいんだけどむずかしそう」「歳だからあんまり難しいのはダメ」まず歌を覚えたいとね」「私、トイレに歌詞を貼って覚えてる」とみんなやる気満々。月1回の練習が本番が近づくにつれ回数が増え、もう少し間隔あけたら」「その場で回ってみる」など、次々にいい案が出てきます。

今年の発表曲を「さんぽ」に決め、まず歌詞を覚え、手話は代表者を真似をしながら、「ここは2回じゃなくて3回叩かない？」右からの方がやりやすいよ」と納得するまで話し合いました。家でも練習できるように歌詞テープを作って持ってきてくれる方も。当日の衣装は、さくらんぼマラソン時に着用した、真っ赤なTシャツと帽子をかぶることにしました。曲目の「さんぽ」に合わせて元気に足を上げたり、手を振ったり、大きな動作で頑張っている表現しました。舞台から戻ったみんなの表情は「やった！」の笑顔でいっぱい！来年はどんな曲を手話で発表するのか今から楽しみです。



「子どもの遊び環境と遊びの意味を学ぶ」



昨年大変好評であった講座の続編を開催しました。12月17・18日の2日間にわたって、102名の方に受講いただきました。その有意義な講座であったことが伝わる受講者アンケートの一部を紹介します。



17日「続・海外の遊び場から学ぶ」

- ◎「遊びは自分の世界をひらく扉」本当にそうですね！子どものいたずら＝実験、子どものいじわる＝限度・限界の確認。子どもの遊びの重要性を改めて理解することができました。
- ◎「遊びは大人になるための準備だから」この考え方をもっと多くの大人に知ってもらえるような環境をつくりたい！
- ◎日本とまるで違う遊びと教育との違いに驚き、身近な場所でこんなことやってみたいと思いました。

18日「続・子どもの力を引き出す プレーワークを学ぶ」

- ◎遊びにはツボがあり、そのツボが満たされると心も満たされること、遊びはとても深く楽しいなと思った。
- ◎子どもの何気なくやっている行為が、その子にとっての大切な遊びであり、その学びの機会を大人が奪ってしまうことが結構あることに気づいた。
- ◎「安心は力」困った行動をしている子が一番、困っているかもしれない。

★受講した方々の満足度がとても高く、早くも続々編の要望をいただいています。

新コーナー



奥山忠雄くんの巻
(あそびあランド特任主幹)

遊びは大人になるための準備①

子ども時代に豊かな遊びを経験したむかし子どもだったオトナを紹介する新コーナーです。新鮮な感覚の人、懐かしい感覚の人がいると思います。実は子どもの時の遊びが大人である今の自分の核になっているのです。

昭和32年、当時6才のただおくんは東根市六田育ち。春は畑の野火つけ、弁当開き、夏は白水川でざっことり。秋には草を結んでバッタかけをつくって誰かが引っかかるのを面白がった。学校の帰りに、小麦の穂を噛むとガムみたいになった。トンボのお尻をちぎって松の葉を差して飛ばしたり、冬は池の「スガ（氷）渡り」。一年通じて、暮らしの中でたくさんのイタズラして子ども時代を過ごした。今の自分は子どものイタズラを止めてしまうが、あのドキドキした感覚は忘れないという。少年のようなまなざしで語ってくださった忠雄さん。親になった昔の子ども皆さん、子育ての中に子ども時代を思い出しながら子ども目線で豊かな遊び空間をクリエイトしていきましょう！（インタビュアー 村山恵子）

けやきジュニア合唱団



山形のうたごえ祭典に出演

ミニコンサートとクリスマス会



10月8日（祝）大ホールで開催された「山形のうたごえ祭典」に、けやきジュニア合唱団に声がかかり出演しました。予定があったり風邪をひいたりして、5人がお休みして12人だけの出演でした。ほぼ満員の会場で、アカペラの時に緊張して歌が薄れて消えてしまいそうになりましたが、先生のアドリブで笑いに変えてもらい、アットホームで楽しい雰囲気でのコンサートになりました。

12月22日（土）けやきホールでのミニコンサートとクリスマス会を無事に楽しく終えることができました。その日の夜には先生方や保護者の方々から、「楽しかったよ」というメッセージをいただき、ホントに素敵な1日でした。何よりも子供たちがひとつひとつ楽しんで笑顔いっぱいだったのが、たまらなく嬉しかったです。子供たちへのプレゼントは、くじ引きで順番を決めて、割り箸鉄砲で射的をしてゲットして遊びました。こんなに楽しめる場所がある私たちは幸せです。いろいろなところから支えて応援して下さいありがとうございます。（保護者会会長 松木千津子）



割りばしで射撃！（ミニコンサートは1頁をご覧ください）

新メンバー紹介

大池 富美子



初めまして、9月から施設コーディネーターとして勤務しております。出身は村山市です。私は長年、医療機関に勤めておりました。先日、受付で懐かしい患者さんから声を掛けていただきました。その方はタントクルセンターでサークル活動をされていて、以前とは別人のように生き活きと楽しそうにいらっしやいました。そのお姿を見て私も嬉しくなりパワーを頂きました。これから、笑顔で明るく日々、学び見習いながら頑張っていきます。よろしく願い致します。

事務局の窓

昨年暮れから「平成最後の」という言葉を頻繁に見聞きするようになりました。明治、大正、昭和、平成、次の元号が何になるのか、どんな時代になるのか、楽しみでもあります。

平成17年に開館した東根市さくらんぼタントクルセンターには、10年を過ぎた今でも全国からの団体が視察に見えられます。視察者の多くは、だれでも利用できるの？ 年間利用者数は？ 入場料は？ 稼働率は？ と判を押したように質問されますが、けやきホールは無料、年間利用者数30万人、稼働率90%ですとの答えに皆さん一様にびっくりされます。その人気の秘密は、本紙一頁に書かれているような対応の積み重ねがあつてのことと改めて感じております。（Y）

賛助会員募集

ひがしねの子どもたちの健やかな成長のために皆さんの力をお貸しください

個人・団体・事業所様からの財政的な支援をお願いしております。詳しくは事務局にお問い合わせください。

—□ 2000円より

編集後記

★昨年の同時期、存亡の危機に立たされていたけやきジュニア合唱団が大きく成長し、団員数も20名を越えました。わが子の成長を願う保護者会のパワー全開といところす。

★道は必ず開ける、悩みの中に解決の道がある、生き生きした子どもたちの歌声に私たちも励まされています。マンネリに陥らず、新たな挑戦の心意気で今年もガンバロー！ 新年の空気は不思議にもそんな力を与えてくれます。（M）